

# 課題解決型インターンシップ

チーム02

小島侑奈 佐竹 栞美 菅原大貴 先崎大裕



# 一課題一

庄内地域の在住外国人にとって、個人学習以外に日本語を学ぶことは容易ではない。特に自家用車がなく教室がある場所から遠い所に在住している学習者にとっては、バスや電車などの利用も便利ではないため、教室に通うことが難しい。また、山形県や東北以北の地方では冬季天候が悪いため、日本語教室に通うことがより困難になる。どのような解決方法があるか。



# 一課題解決案一



# 一課題解決案一

赤ペン先生方式

①授業資料、問題等を配布

→Gmail・LINE・WeChat等を利用

②学習者は問題を解き、返信する。

③講師はそれを添削し、授業に使用する。



# ーメリットー

- 新たな準備をする必要がない。
- 対面形式の利点を損なわない。



## ※対面形式の利点

- リスニング、スピーキングの練習ができる。
- 分からないところを素早く先生に質問できる。

→Zoom等と組み合わせることで、対面形式の利点を取り入れることが可能に



# ーメリットー

- 新たな準備の必要がない。
- 対面形式の利点を損なわない。
- 授業方法の移行がしやすい。



# ※授業方法の移行

- テキストを使用している学習者が多い。

例：『しんにほんごの基礎』

『みんなの日本語』

その他各自が用意したもの

→テキストを写真や文章の形でやり取りする「赤ペン先生方式」とは相性が良い。



# ーメリットー

- 新たな準備の必要がない。
- 対面形式の利点を損なわない。
- 授業方法の移行がしやすい。
- 時間をかけて添削できる。
- 学習者が複数でも対応可能。



# ※複数人でも対応可能

## 【通常の日本語教室】

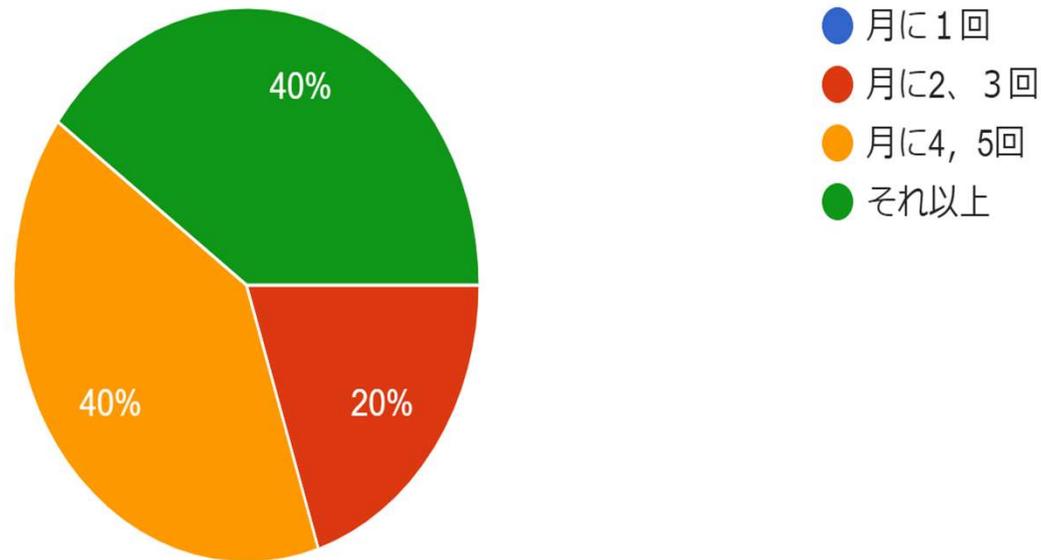
- クラス単位で授業進度はほぼ同じ。
- 各々の学習ペースに合わせて、クラス再編が臨機応変に行われている。

## 【赤ペン先生方式】

授業進度の調整やクラス再編を行うことで、複数人での学習が可能に



# 一冬期間の日本語教室の利用頻度



# ーデメリットと解決策ー

- スマホやパソコンを持っていない人はこの方法を利用しにくいのではないか。

→ 郵送



## 一まとめ一

「赤ペン先生方式」を活用することによって、天候や交通状況が左右されず日本語の学習を進めることができる。





# 赤ペン先生方式

